

止めましょう！



日本共産党北区議会議員 さがらとしこ 区政レポート

2014.5.15. No.1228.

ご相談はお気軽に
TELとも FAX 3905-0970
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.no.jp/~kyoukita/>



2012年4月～5月 全国で 通学路での事故相次ぐ

の京都・島根市・千葉・館山市や
愛知県では連続して。

○読者のみなさん、こんにちわ。新緑も少しうつ色濃くなってきました。さて、前号のレポート(No.1225.または1226)をざらんになって、いろいろな感想やご意見をよせていただきました。

旧桐北前の交差点、通園・通学路の安全守って

- 私は、都営住宅の建設中の交通安全対策をきちんと行うことは、13階(約40mの高さ)の高層建物の完成後にとっても大切だと考えています。
- そして、通園・通学(登下校)の安全確保は、高齢者の方々にとっても、大切なことだと考えています。歩行者も車の利用の方々にとっても。
- 工事は2年間かかるといわれています。着手前にきちんと対策をとることは、東京都としての責任ですし、北区としての責任もあると思います。

仮囲い(3m)で信号も横断歩道も見えない！

- 「仮囲いのところ、白いワクを囲ってみると、よくわかるよ」とのアドバイス。ちく、写真に白いワクをつけてみました。(右上の写真)

朝8時前後の30分で、小中学生300人余

- 下の写真は、東京メガシティ方向から桐ヶ丘郷小学校に向かう児童の様子ですが、校門前のスペースがあるからこそ、信号機と横断歩道を確認して、安全に渡ることができるのではないかでしょうか。
もちろん、交通指導員の方々の役割が大きいですね。

- 「住民の会」の調査(5/1の朝)によると、7時45分～8時20分校門前を通った人数は、小学生236人、中学生60人、大人25人、自転車17台。また自転車通学の高校生6人とのこと。多いですね。

文科省、国土交通省、警視庁、国レベルで対策

- 同年5月28日、全国の通学路の緊急合同点検の実施がよびかけられる。のそて、今後のとりくみの重点として、①継続的とりくみ、②対策の着実なとりくみ、③地域における推進体制の構築をあげている。



↑2014.5.7.

住民はくり返し、
都に対策を求め
つづけてきました。

○旧桐北れど地建設画の公表と、都の環境アセスメント手続き。計画説明の時など、私は住民のみなさんとともに都に対策を求めてきました。

「住民、道路利用者に
適切に情報発信する」

四 通学路での痛ましい事故を教訓に、
国レベルでの連携と地域レベルでの連携強化が求められています。私は、この対策の中でも、住民、利用者への適切な情報発信に注目しています。都は、学校やPTA、住民への情報提供をきちんと行い、地域力、通学路の安全確保に尽力すべきです。

■工事にあたっての詳細
5月1日の住民要求に
じっくり、現地立会いを
初めて公表。しかし都は、
この立会についても、学校やPTAなどに知らせていませんでした。

人生全部ひっくり返される

5月12日付
「ひぶん赤旗」より

私が小学2年生の時に戦争が終わりました。学校では、日本の戦争は間違いであり、二度と戦争はしないと決めて憲法9

条ができたと教えてもらいました。毎日お辞儀して天皇と皇后の写真を飾る奉安殿は壊され、子どもながらに日本はガラッと変わったのだと

日本キリスト教協議会議長

小橋 孝一さん

兵隊と同じ格好



こぼし・こういち 日本キリスト教協議会議長
牧師 宗教者九条の和呼びかけ人

インタビュー 「戦争する国」 「戦さない」

思いました。私はその後、高校生から教会に通い、牧師になり、50年以上、命や平和の大切さを

聖書にもとづいて伝えてきました。ですから、安倍政権が集団的自衛権の行使を可

能とし、日本を「戦争する国」にしようとしていることは、自分の人生が全部ひっくりかえられる感じで、絶対に受け入れられません。

一度裁かれた日本がまたつぶれてしまします。集団的自衛権の行使は「限定的」などと言っていますが、あてにはなりません。いつでも戦争は「自衛」を名目に行われてしまう。しかも集団的自衛権は本来の自衛ですらない。そのうえ安倍首相らは、その侵略戦争を間違っているとは思っていません。

安倍首相は靖国神社に参拝し、国民のナショナリズムをあおり、国を富ませるために軍隊も必要とする。まさに「祭政一致」「富國強兵」を推進した大日本帝国の時代に戻そうとしています。イエス様は「剣を持つて立つ者は、剣によって滅びる」と言いました。一度裁かれた日本がまた同じことをすれば本当につぶれてしまいます。集団的自衛権の行使は「限定的」などと言っていますが、あてにはなりません。いつでも戦争は「自衛」を名目に行われてしまう。校舎は木造だけれど、奉安殿は燃えないようにコンクリートでつくられている。今では考えられない話ですが、それが当たり前の社会でした。

2014.5.16. 『さがみらい』No.1228,

日本共産党

解放で9条をひねる

集団的自衛権
海外で
殺し
殺される
国へ



軍都北区から平和都市へ
北区の歴史と
ひっくり返させない!!

桐丘遺跡発掘調査成果発表会
5月18日(日)
14時~15時半
桐丘中4F
ランタルーム
・エレベーターあります。
・入場は無料
・上書き持参下さい。

引き下がれない
私の50年以上の牧師としての活動の自己反省も含めてですが、日本全体が深く罪の認識を感じる力を養わなければいけないと感じています。今日は引き下がれません。宗教者のなかでも宗教・宗派の違いを超えて、焦らず、あきらめず、希望をもって、やれることはやっていきたいと思います。

聞き手・前野哲朗
写 真・佐藤光信